

令和元年度特別栽培米栽培基準（こしいぶき・頸北特19）

項目	実施内容
1. 品種	こしいぶき
2. 土づくり	秋すき込みの実施 えちご上越ソイル元気（40kg/10a）又は堆肥（500kg/10a）、スーパーシリカプレミアム（ケイ酸肥料）の施用
3. 播種・育苗	種子消毒 温湯消毒 育苗消毒 カシ粒剤/液剤 殺虫剤 パディート箱粒剤/Dr. オリゼパディート粒剤 健苗育苗
4. 施肥	育苗 ホネズ培土1号 70.0 kg/10 a（成分 N・P・K 各0.0325） 又は川西培土 75.0 kg/10 a（成分 N0.039・P0.058・K0.048） 又は稚苗苗代配合 0.75 kg/10 a（成分 N0.03・P0.045・K0.0375） 又はすくすく肥料 1 kg/10 a（成分 N・P・K 各0.1） くみあい液肥2号 0.30kg/10 a（成分 N0.0303・P0.012・K0.024） 又はべんとう肥 0.50kg/10 a（成分 N0.04・P0.04・K0.04） 元肥 越後の輝き有機50 35kg/10 a（成分 N3.5・P2.8・K2.8） 追肥 越後の輝き有機50穂肥 20kg/10 a（成分 N2.4・P0.4・K1.6）
5. 移植	植付本数 3～4本/株 植付株数 50～60株/坪当たり 稚苗移植 5月10日以降田植え
6. 除草	シュナイデン（1 ^号 粒剤/フロアブル/ジャンボ） 5月中下旬 （粒剤：移植直後～ノビエ2.5葉期、フロアブル・ジャンボ：移植3日後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで） 後期除草剤は使用しない。
7. 中耕	
8. 水管理	6月10日～20日 溝切り、中干しの徹底による生育調整 生育ステージごとの水管理を徹底、特に適期の溝切り・中干しにより 生育調整の徹底をはかる。 早期落水をしない。
9. 病虫害防除	殺虫剤 ・カメムシ防除 スタークル（粉剤DL/粒剤/液剤10） 8月上～中旬1回 殺菌剤 ・いもち病予防 オセメート粒剤/Dr. オセパディート粒剤 ・紋枯病予防：リンバー粒剤 7月上～中旬 ・稲こうじ病、墨黒穂病 Zホルト [®] 粉剤DL 出穂20～10日前
10. 乾燥・調整	玄米最終水分調整 14.5～14.9% ふるい目 1.85mm使用 整粒歩合 85% 千粒重 21～22 g